

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・10月号

石川県学校生活協黒字化3か年計画の最終年

山中小学校でサッカー教室が実施されました。

10月18日(木)午後3時50分から5時まで加賀市立山中小学校でサッカー教室が開かれました。このサッカー教室は、学校生協の取り扱い保険会社である明治安田生命の「健康応援プログラム21」の事業の一つで、応募校38校の中から小学校4校、高等学校1校で実施されています。当日は、J2リーグ所属のツエーゲン金沢の選手2名(作田裕次さんとブラジル人のマラニョンさん)とコーチ2名、通訳1名で、山中小学校児童5年生と6年生の16名が参加し、パスやドリブル練習で1時間を超えてしまいました。

私は、挨拶係として参加しましたが、見ていてすごく勉強になりました。何が、勉強になったのかと言えば、1つはパスをする時のコンタクトの重要性、常にシュートを考えてパスすることの大切さです。私も昔、小学校の教師でしたからサッカーを教えたのですが、このような練習方法を知っていたならもっと子どもたちの能力を引き出せたのになあと思いました。

来年もこのような取り組みができたらいいなあとと思います。



2018年度9月末 前期決算208万円の赤字。計画目標より115万円の改善！

石川県学校生協の2018年度9月末上半期決算は、経常損失金▲208万円です。計画は▲323万円ですから115万円もの改善です。7月の業績の悪化を何とか、8月・9月でカバーできたようです。特に9月の被災地支援の「つながろう応援活動」の供給高が、569万円もあり、計画比142%で目標額を大幅に超えたことが第一の要因です。一方、計画では10月から太陽光発電の売電利益月14万円が入る予定でしたが、まだ設置の許可が承認されていない状況で、実施は来年度にずれ込みそうです。この太陽光の利益を何かでカバーして、何としても年度末には黒字25万円を達成できるように頑張ります。

みなさんの石川県学校生協です。石川県学校生協をもっともっと利用してください。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

シリーズ 第2回

《ヴィーナスの誕生》 北本 豊春

海外の美術館・名画紹介の第一回という事で、イタリア、フィレンツェにあるウフィツィ美術館の名画を取り上げたいと思います。と、分かります。実際の絵画を見ながら読んでいくと、アルネッサーンズ発祥の地域であり、フィレンツェは、イタリアとも言うべき歴史的都市です。後に西洋絵画の中心地となるパリの画家たちの多くも、この地を訪れて絵画の勉強をしていきます。この美術館は代表的な名画と時期の作品を多数展示しています。美術館には、誕生は、ボッティチーニの『ヴィーナスの誕生』という名画があります。『ヴィーナスの誕生』は、ボッティチーニの『ヴィーナスの誕生』という名画があります。『ヴィーナスの誕生』は、ボッティチーニの『ヴィーナスの誕生』という名画があります。

編集後記 初めての救急車に乗るの巻

10月5日に初めて救急車に乗せられ、加賀医療センターに運ばれ、脱水症治療で2時間の点滴を受けました。それだけで済んだので本当に良かったです。その日は、10月でも珍しく朝から暑い日でした。朝9時のビニールハウスに入って、水菜や法蓮草の新しい畝を1時間30分ほど作っていました。すごく汗が出て、500mlの水は瞬く間になくなり、もっと欲しいなと思い、家に帰ろうと自転車に乗ったのは良かったのですが、目が見えにくく、胸がつかく、苦しくなり、自転車ごと倒れてしまいました。連れ合いを携帯で呼んだのですが、野菜の配達中で時間がかかりそうな返事でした。そうすると、近所の方が、「顔色が悪いから救急車を呼びましょうか」と声をかけてくれてお願いしました。実は、脱水症は以前にも経験し、その時は、連れ合いに送ってもらったことがあったのです。2回とも、飲み水が不足していたことが原因です。3回目にならないように十分気を付けます。(ほその)